

2024年度 実用英語技能検定（英検）検定料改定のお知らせ 「英検（従来型）」・「英検 S-CBT」・「英検 S-Interview」

公益財団法人 日本英語検定協会は、このたび、2024年度の実用英語技能検定（「英検（従来型）」・「英検 S-CBT」・「英検 S-Interview」）の検定料につきまして、検定実施にかかる費用の高騰等を受け、第1回検定より改定をさせていただきますことのお知らせいたします。改定の理由および各検定の検定料につきまして以下のとおりご案内いたします。

【検定料改定の理由】

物価上昇による原価増

物価上昇に伴い、検定実施にかかる費用が上昇し、原価増に伴う検定料の値上げをせざるを得ない状況。主に外部委託先や仕入先における、人件費、用紙費・印刷費、物流費、その他試験運営費などが上昇。

英検の品質向上のための研究・開発

英検協会はその時々の英語教育の指針に合わせて検定試験の品質向上に取り組んでいる。さらなる品質向上を見据え、問題作成・採点にかかる研究開発や、制作機能の増強など、品質向上に必要なコストが増加する見込み。なお、2024年度に問題形式を改定し1級から3級のWritingタスク等を増加し、学習指導要領で求められる技能の統合性を高める。

【2024年度「英検（従来型）」・「英検 S-CBT」・「英検 S-Interview」の検定料一覧】（税込）

申込区分			実施会場		1級	準1級	2級	準2級	3級	4級 *1	5級 *1
			一次試験	二次試験							
英検 （従来型）	個人/ 団体	本会場	本会場	本会場	12,500円 <small>（現在 11,800円）</small>	10,500円 <small>（現在 9,800円）</small>	9,100円 <small>（現在 8,400円）</small>	8,500円 <small>（現在 7,900円）</small>	6,900円 <small>（現在 6,400円）</small>	4,700円 <small>（現在 4,500円）</small>	4,100円 <small>（現在 3,900円）</small>
	団体申込 のみ	準会場	準会場	本会場	—	—	6,900円 <small>（現在 6,400円）</small>	6,100円 <small>（現在 5,700円）</small>	5,000円 <small>（現在 4,700円）</small>	2,900円 <small>（現在 2,900円）</small>	2,500円 <small>（現在 2,500円）</small>
英検S-CBT *2			テストセンター		—	10,600円 <small>（現在 9,900円）</small>	9,700円 <small>（現在 9,000円）</small>	9,100円 <small>（現在 8,500円）</small>	7,800円 <small>（現在 7,200円）</small>	—	—
英検S-Interview			受験上の配慮措置 に適した本会場		12,600円 <small>（現在 11,900円）</small>	10,600円 <small>（現在 9,900円）</small>	9,700円 <small>（現在 9,000円）</small>	9,100円 <small>（現在 8,500円）</small>	7,800円 <small>（現在 7,200円）</small>	—	—

*1: 4級・5級は一次試験のみ

*2: 「英検 S-CBT の検定料は、2024年5月実施分より改定いたします。（2024年4月実施分までは、2023年度の検定料となります。）

※ 海外会場の検定料（本会場・準会場）は、別途、確定次第、英検ウェブサイトにてご案内いたします。

以上、英検協会は、公益法人として収支相償の原則に基づき、収支均衡のため、試験の実施・運営にかかるコストを算出し、2024年度につきましては上表の検定料とさせていただきます。

なお、2024年度の実用英語技能検定（英検）試験日程の概要につきましては、今月中を目途に、英検ウェブサイトにてご案内いたします。

現在、英検協会では、英語学習者の英語力向上支援と、準会場での受験機会の拡大に取り組んでおります。

英語学習者の英語力向上支援

- ✓ 英検 4 級・5 級を国内の準会場で受験する方を対象に、不合格の場合は次回検定を同一準会場にて無償で再受験できる「**4 級・5 級チャレンジキャンペーン**」
- ✓ 準会場に登録している学習塾などで、小学生の児童が「英語を使ってできること」の積み重ねを実感できる「英検 ESG 確認パッケージ」を無料体験できる「**英検 ESG 祭り**」
- ✓ 全国の自治体・教育委員会での英語力・指導力向上施策を支援する「**英語能力向上事業**」

準会場での受験機会の拡大

受験者が試験を受けやすいよう、今後とも準会場の増設に努めてまいります。現在、準会場として、1 検定回あたり、約 1 万 6 千会場で実施されています。これにより受験者は、本会場よりも割安な検定料で、お近くの会場にて、本会場以外の試験日程でも受験することができます。

※準会場とは、英検協会が認めた登録団体が、団体申込をして自前の会場で試験を実施するものです。主に学校や学習塾等（全国で約 2 万団体）が認定されています。所属している生徒様だけでなく、近隣の一般の受験希望者の方々も受け入れている学習塾等もございます。「[一般受験者の受け入れについて](#)」（英検ウェブサイト参照）

以上